



職業訓練の様子



学ぶ意欲にあふれる参加者

多様であるということ

先日、森を訪ねる機会があった。案内してくれた方は、この森で約10年間働いている。彼の活動は、なかなか一言では言い表せないが、強いて言えば 森の再生と、それにまつわることを全てをされている、ということになるのだろうか。

普段、私が『木』という時、特定の木を指していない。自分の中で、樺も松も杉も檜もみんな同じ扱いをしていたことに、先ず気づかされる。どれも木であることには違いはないが、その性質は大いに違う。それでも広葉樹や針葉樹のように分類の中で似通った性質を示すものもある。一つひとつの特性が活かされ、かつ全体のシステムの中でそれぞれが果たしている役割を見極めて森と関わる彼は、10年前よりも一回りも二回りも大きい存在に見えた。

固有と共通の部分がそれぞれにあることは、日々の暮らしの中でも痛感する。同僚たちは同じ組織で働くという共通部分ももちろんあるが、多様で豊かな個性を各々が持っている。同じ国の出身者、同じ信仰の持ち主、難民、被災者もまたしかり。決めつけて支援を進めれば、善意の支援自体が害になることさえある。

森の案内人がイメージする森ができるまで、約500年かかる見込みだという。彼が森について語る時の言葉の一つひとつが、地球と生きとし生けるものへの敬意に溢れ、触れる人びとに本質を思い出すことを優しく促している。

JEN理事・事務局長

木山 啓子

トルコ、ブルサ県における職業訓練支援事業

人びとの手に、安全で安定した職を

2023年から今年にかけて、ジェンはトルコ・ブルサ県で、シリア難民の方々と、彼らを受け入れる地域社会（ホストコミュニティ）の方々を対象に、職業訓練支援事業を実施しました。

シリアでは14年に及ぶ紛争により、数百万人が避難生活を余儀なくされています。トルコはその多くを受け入れ、現在も約370万人のシリア難民が暮らしているとされています。昨年末の政変を機に、国連の推計では48万人がシリアに帰還したとも言われていますが、多くは依然として不安定な状況の中、望んでも帰郷が叶わない現実があります。

トルコ国内にいるシリア難民の約9割は、生活費や生活必需品を十分にまかなえず、安定しない労働環境に身を置かざるを得ません。

必要な技能やトルコ語能力を持たないまま、選択肢の限られた労働に従事している状況が続いています。加えて、2023年に発生したトルコ・シリア地震が地域経済に深刻な打撃を与え、難民だけでなく現地住民の暮らしも一層厳しさを増しています。

こうした中、ジェンは地域で需要の高い「調理」「美容」「洋裁」の3分野で職業訓練を実施し、加えて職場で必要とされるトルコ語の実践的な学習も支援しました。各分野の専門家を講師として招き、受講者が技能と自信を身につけ、修了証を得ることで、より安定した職への一歩を後押ししました。

この事業は、シリア出身者で構成されるNGO「Orange」と連携し、現地の公的職業訓練センターの協力のもと実施しました。訓練に必要な

機材も提供し、事業終了後も継続して活用される予定です。現場を視察したスタッフからは、「講師が親身に教えてくださり、参加者は皆、熱心に、そして楽しそうに学んでいた」との報告がありました。Orangeとの協働も心強く、教育省や訓練センターとの調整、現地の課題への対応など、多くの場面で知見を発揮してくださいました。毎週の会議では、悩みを共有し、共に解決策を見出してきた日々が、今振り返ると何より貴重な時間でした。

ジェンは、これからもトルコで困難な状況にある方々に寄り添い、未来を拓く支援を続けてまいります。引き続き、皆さまの温かいご支援をよろしくお願い申し上げます。

※本事業は、外務省「NGO連携無償資金協力」および皆さまからの寄付により実施しています。

普通の暮らしを取り戻そうと努力する人びとを支える ジェンの活動をご支援ください

ジェンのLINE公式アカウント、始めました
あなたも、私たちとつながりませんか？



LINE
公式アカウント
とつながる

ジェンでは、LINE公式アカウントを通じて、日々の支援活動の様子や、事業地の声、イベント情報などをお届けしています。

「いま、現地では何が起きているのか」「ジェンの支援がどう届いているのか」——そんな想いを持ってくださる方に、より身近にジェンを感じていただけるよう、心を込めて発信しています。

ぜひ、LINEでジェンと“お友だち”になって、つながってください。あなたの想いが、支援の力になります。



大切な想いを、未来へ話してみませんか
ジェンへの「遺贈寄付」のご案内



お問合せはこちら

人生の集大成としてのご意思を、困難な状況にある方々の「自立を支える力」として未来へつなげていただけませんか。

ジェンでは、「遺言によるご寄付」や「相続財産によるご寄付」をお受けしています。ご希望に応じて、「アフガニスタンでの支援」「災害時の緊急支援」「子どもたちの教育支援」など、ジェンが行う様々な活動の中から用途をお選びいただけます。

金額の大小にかかわらず、たとえばご遺産の一部を、という形でも承っております。お預かりしたご寄付は、紛争や災害の中でも懸命に生きる方々の未来を支える活動に、大切に活かしてまいります。もし少しでもご関心をお持ちいただけましたら、どうぞお気軽にご相談ください。



※本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載は固くお断りいたします。

封筒に記載されてる住所について

現在のジェンの所在地は差出人選付先に記載されている住所となります。皆さまにはご不便をおかけいたしますが、ご理解賜われますようお願い申し上げます。



特定非営利活動法人ジェン(JEN) 東京本部事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂7-5-27-305
TEL: 03-5114-6201 FAX: 03-5114-6202

ホームページ <https://www.jen-npo.org/> Japan.Emergency.Ngo
NPO JEN 検索 @NGO.JEN @ngo.jen

このニュースレターは継続可能な森林管理のもと生産された原料で製造された紙、FSC®認定紙を採用しています。



インターン紹介



レチ裕陸
(れちよりく)

みなさん、こんにちは! 去年の8月から広報ファンドレイジング部でインターンを行っている大学2年のレチ裕陸です。ジェンではSNSの原稿作成や新企画であるポッドキャストの企画と運営に携わっています。日々の活動で感じることはジェンの温かさです。どんな時も優しく笑顔で接して下さる職員の方々だからこそ、現地へジェンの温かみのある支援を届けることができるのだと思います。これからも、一人でも多くの方が笑顔になれるような活動を展開していきたいです! 宜しく願い致します! ポッドキャスト、聴いていただければ嬉しいです。

予告

次号(vol.100)で
パキスタン特集をします

2022年の大洪水以降、ジェンが支援を続けているパキスタンの現場から、復興に向けて歩む人びとの姿を捉えた写真が届きました。その一部を皆さまにご紹介します。現地の暮らしや人びとの日常を丁寧に切り取った写真です。次号では、パキスタンを特集いたします。どうぞご期待ください。

気温47度に達する日も



年々厳しさを増す暑さの中でも、子どもたちは眩しい笑顔を見せてくれます。

暑すぎて



水をかぶる子どもたち。4月に撮影しましたが、毎日40度を超えています。

食卓を囲むひととき



厳しい状況の中でも、食事の時間は笑顔と会話があふれ、皆さんが日々の活力を育んでいる様子が印象的でした。

農業に励む人びと



農業支援の現場では小麦、大麦、からし菜が順調に育っていました。1つ1つの作業を丁寧にしています。

TOPICS



BOOKMAGIC環境月間応援キャンペーン2025

ジェンは「環境の日」にあわせ、不要な本やCD・DVDを寄付につなげる「BOOKMAGIC環境月間応援キャンペーン2025」を6月5日から開始しました。期間中(6月5日~8月4日)はブックオフが買取額に10%を上乗せし、全額がジェンに寄付されます。リユースを通じて環境保全と国際協力を両立する取り組みで、たとえば1,000円分のご寄付でノート3冊セットをアフガニスタンの子ども3名に届けることができます。読み終えて眠っている本がありましたら、ぜひご参加ください。

●申し込みはこちら: <https://www.jen-npo.org/bookmagic>



申し込みはこちら



ポッドキャストで番組をはじめました

ジェンの国際協力ポッドキャスト~自分で明日を選べるように~という番組をはじめました。パーソナリティはジェンでインターンとして活動するレチさんです。このポッドキャストは、リスナーの方にとって国際協力を考えるきっかけになっていただければという思いから始めました。ぜひ、お聞きください!

●Spotifyで聴く: <https://open.spotify.com/show/7D78NqDxdQqlsnNPi0LDun>



ポッドキャストを聴く

生計支援クラウドファンディング

未来をあきらめない人たちが、ここにいます

アフガニスタンで
生計支援を続け、
希望を
つなぎたい!



アフガニスタンでは、人口の約半数にあたる2,290万人が人道支援を必要としています。40年以上続く紛争、度重なる自然災害、政変による社会の混乱、そしてウクライナ危機を背景とした物価高騰や、経済危機の影響が、人びとの暮らしをかつてないほど厳しいものにしていきます。ジェンが支援を行っているナンガルハル県は、特にニーズの高い地域のひとつです。県都ジャララバードには、帰還民や国内避難民が仕事を求めて集まりますが、安定した収入を得られる機会は極めて限られています。中でも女性たちとりわけシングルマザーの家庭は深刻な状況に置かれており、日々の暮らしすら立ちゆかない状態にあります。ジェンは、こうした方々が自らの力で未来を切り拓けるよう、生計支援事業を続けています。参加者一人ひとりの

状況に合わせて、ビジネス研修の実施や必要な道具類の提供を行い、少しでも収入の機会を増やせるよう後押ししています。いま、皆さまからのご寄付を募るクラウドファンディングに挑戦しています。どうか、アフガニスタンの方々が希望を手放さずに生き抜けるよう、温かいご支援をお願いいたします。

クラウドファンディング概要

募集期間 2025年
5月12日(月)~8月1日(金)
目標金額 100万円

ご支援はこちらから



VOICE

仕事の機会を作ってくれてありがとうございます! 事業参加者・パシュミナさん



インタビュー動画を見る



インタビュー動画では、造花を丁寧に作るパシュミナさんの作業の様子もお伝えしています

私はシムワリ・テワラ出身のパシュミナです。現在ハダ・ナクフンザダ・サヒバに住んでいます。調査の結果、ジェンの職業訓練の参加者に選ばれました。私たちのために仕事の機会を作ってくれて本当にありがとうございます。女性が就業機会を作り出すことは本当に難しいことなのです。私たちは今、マーケットと繋がり、花を売っています。今では、2人の生徒に製造を教えていて、1日5000から6000アフガニー(約1,050円)~1,300円)の収入を得ています。